

鶴見区 社協 だより

98号

【第98号】2025年11月6日発行

★「鶴見区社協だより」の発行には、
赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。

鶴見区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
カメ吉



企業と地域でめぐる思いの輪

「企業の地域貢献」という言葉を聞いたことがありますか？
みなさんの身近な企業も、実は地域貢献の活動をしています！
地域の方々の思いが、企業のパワーでかたちになって、地域に還元されています。
「地域のためにできること」を実施している2つの企業の取組を紹介します。

「フードドライブ活動」 ～横浜信用金庫末吉支店～

取組の内容

店内ロビーに食品回収ボックスを常設し、地域にお住まいの皆様からご提供いただいた食料品を鶴見区社会福祉協議会と連携して必要とする方々へお届けする取り組みです。

取組のきっかけ

令和5年にSDGs(持続可能な開発目標)の一環で、地域のつながりを大切にしたい取り組みとしてフードドライブ活動を計画。同年10月約1か月のお試し期間を経てスタートしました。



横浜信用金庫末吉支店でお待ちしています！

寄付への思い

地域に根ざす金融機関として、フードドライブ活動を通じて地域支援に貢献したいという思いから活動に参加させていただいております。

皆様の温かいご協力が、地域のつながりと笑顔を生み出す力になると信じてこれからも活動に取り組んでまいります。皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

「広報誌アレコレ講座」

鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日々はつるみ～

取組の内容

地域住民が中心となり福祉活動を行う「地区社協」の役員を対象に、広報誌の効果的な写真の撮り方や目を引くレイアウトについて学べる講座を実施しました。



取組のきっかけ

「独自のイベントを実施しても広く周知できていない」「若い世代へアプローチしたい」などの地区社協の悩みがありました。地区社協の活動がより多くの方に届くよう、広報の仕方を学べる講座を実施しました。

これつる～日々はつるみ～編集部 編集長 浜田貴也氏は「鶴見のため」をモットーに、鶴見区の情報発信やイベント企画、運営などを手掛けています。

地域の声

上末吉地区社協→写真を多く入れたり、今後のイベント情報を中心に載せるようにしました！

潮田西部地区社協→広報誌の名称を親しみやすい「しおかぜ通信」に変更し、目に留まるよう背景をカラーにしました！



鶴見区社会福祉協議会の取組を紹介します

ふくしの体験会を開催しました！

台風一過の晴天の中ボランティアセンターで8月2、3日「ふくしの体験会」を開催しました！今回で3回目となった体験会では、手話教室やアニマルセラピー犬体験、車いすの先生によるダンスワークショップ、モルック体験、福祉に関するゲームやクイズなど内容は盛りだくさんでした。子どもたちもたくさん来てくれて賑やかな2日間となりました！ご参加、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



動物介在活動ボランティアグループ てくてくつるみ

視覚障害の方の外出について学ぶ
「ガイドボランティア体験講座」を実施します！

令和8年1月14日・21日14時～(1日目のみの参加可)

詳細はホームページをご確認ください。

善意銀行寄付に感謝申し上げます。

【寄付者一覧】令和7年2月1日～令和7年9月30日寄付分

敬称略・順不同・()内の数字は期間中の寄付回数

金銭寄付者 末吉神社奉賛会、K・M、鶴見区自治連合会婦人部、鶴見薬剤師会、横浜市鶴見区消費生活推進員の会(2)、鶴You会、公益社団法人 鶴見法人会(2)、高橋妙子 商品開発部、鶴見区更生保護女性会、キッチンmatsui(2)、松緑神道大和山 横浜教区婦人会、神奈川土建一般労働組合 横浜鶴見支部、東寺尾図書館、食事サービス連絡会、イトーヨーカドー鶴見店労働組合、豊岡連合婦人部一同、匿名(6)

物品寄付者 吉兆グループ(8)、株式会社日工、匿名(4)

善意銀行は、皆様から寄付金や物品をお預かりし、鶴見区内の福祉施設や当事者団体などへ配分する取組です。

受付方法

鶴見区社協窓口への持参(平日9時～17時)または銀行口座へのお振込み。

詳しくはホームページをご覧ください。

「鶴見・あいねっと」
区民意見募集中

ホームページよりご意見
お待ちしております。
令和7年
11月20日まで

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37リオベルデ鶴声2階

電話 045-504-5619

FAX 045-504-5616

ホームページ
はこちら

